



恕の心



令和3年6月7日 校長 廣瀬 真樹

陸上・卓球部壮行会 開催



6月1日(火)全校集会に引き続き、他の部活動よりひと足先に大会が行われる陸上部・卓球部の壮行会が行われました。キャプテンからの意気込みからは3年間の思いをしっかりと出し切ろうという熱意が感じられました。また私からは3つの心を大切にしてほしいという話をさせていただきました。

- ①どの部より頑張った、やるだけのことをやりきってきたという自信
- ①つらい、苦しい、悔しい…そんな思い…楽しいより苦しい思い出の方が本当の力となっている。
- ②感謝の心…大会前日、お世話になった人達を思い浮かべる…感謝の心は大きなパワーとなる

最後に、当日、試合やレースの時には無心で頑張ってもらいたいとお話しさせていただきました。またかけはしホールには応援メッセージが掲示してあります。ひと言ひと言に思いが込められています。

昨年は開催されなかった大会、先輩たちは悔しい思いをしました。大会ができることに感謝し、最善を尽くしてきてください。応援しています。

思い立ったときに遅すぎることはない！

黒柳徹子さんが語った「私を奮い立たせる言葉」の4コマ漫画が少し前、Twitterで話題になりました。

この4コマ漫画を投稿しているのは漫画家のりさり (@sweetcocoamilk) さん。

いろいろな事を諦めることが多かった子供時代に、自分を奮い立たせてくれた言葉だそうです。

人は大人になって「やりたいこと」が見つかって、なかなか踏み出す勇気が出なったりします。悩んでいるうちに、ただ時間だけが過ぎてしまったなんて事も……。今でも「あの時、チャレンジしていれば…」と何か後悔している人もいないでしょうか？人はやった後悔よりも、何もしなかった後悔の方が、ずっと心に引っかかっているものです。

確かに、うだうだして1年経ってしまい、「あの時やってたら〇〇歴1年」って言えたのか…って後悔するよりは、とりあえずやってしまった方がいいということですね。

この言葉を常に肝に銘じておきましょう！

歴史の教科書に登場する伊能忠敬（いのうただたか）も、55歳から全国の海岸線を歩きはじめ、17年かけて日本地図を完成させています。

人間、やる気にさえなれば何でもできるということですね。

自分の可能性を信じ、新しいことにチャレンジして行きましょう！

